

【総論】

○生徒の評価は昨年度大きく向上し、今年度も概ねさらに向上する傾向にある。保護者の評価は今年度ほぼすべての項目で大きく向上しており、高い評価を得ている。教職員は項目によって変動が大きく、上昇と下降が相半ばしている。

以下、(①生徒アンケート、②保護者アンケート、③教職員アンケート)

【総合的な項目】

○総合的な項目においては、生徒は昨年の改善を維持、保護者は肯定的評価が微増傾向、教職員は昨年の減少を持ち直しており、全般的に良好な結果である。

- ①「学校へ行くのが楽しい」69.2% (昨年度+1.1%)
「この学校に入ってよかったと思う」68.1% (昨年度-3.9%)
- ②「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」76.1% (昨年度+2.9%)
「子どもを佐野工科に行かせて良かったと思う」94.4% (昨年度+2.2%)
- ③「教育活動全般において、生徒や保護者の願いにこたえている」73.9% (昨年度+9.2%)

【学習指導等について】

○学習指導に関する項目は、生徒、保護者、教員共に肯定的評価が増加しており、学習指導全般における取組が高く評価されている。

- ①「普通科目の授業はわかりやすい」78.7% (昨年度+3.0%)
「専門科目の授業(座学)はわかりやすい」74.8% (昨年度+3.4%)
「実験・実習などの授業はよく学習できている」82.6% (昨年度+1.1%)
- ②「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている」59.8% (昨年度+1.0%)
- ③「到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる」54.3% (昨年度-1.5%)
「学習意欲の高い生徒に対する学習指導を個に応じた視点で工夫している」56.5% (昨年度+6.5%)

【生徒指導等について】

○生徒指導に関する項目は、保護者においては評価が向上しているが、生徒と教職員において、問題意識が提示されている。次年度に向けて改善の努力が必要な項目である。

- ①「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」81.8% (昨年度-1.4%)
「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる」59.2% (昨年度-2.6%)
「学校生活についての先生の指導は納得できる」60.7% (昨年度-6.9%)
- ②「学校の生徒指導の方針に共感できる」83.8% (昨年度+2.8%)
「学校は子どもに命を大切にす心や社会ルールを守る態度を育てようとしている」89.6% (昨年度+2.7%)
「学校では、いじめや差別を許さず、厳しく指導している」88.8% (昨年度+1.9%)
- ③「生徒の問題行動が起きた時、組織的に対応できる体制が整っている」67.4% (昨年度-6.1%)
「教育相談体制が整備されており生徒は学級担任以外の教員とも相談できる」73.3% (昨年度+11.6%)

「生徒指導において、家庭との緊密な連携ができています」 80.4% (昨年度+2.3%)

「この学校ではカウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」 37.0% (昨年度-7.2%)

【その他の項目について】

○昨年度の診断結果より課題とされた、家庭と学校の連携不足、情報提供の不足に対しては、学校の改善努力の結果、大きく向上が見られた。

②「学校は教育情報について、提供の努力をしている」 79.6% (昨年度+3.7%)

「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っている」 76.6% (昨年度+6.0%)

③「教育活動に必要な情報について、生徒や保護者の願いにこたえている」 80.4% (昨年度+24.6%)

【まとめ】

○昨年度から取り組んでいる授業改善については、概ね生徒・保護者の支持を得ており、新学習指導要領も見据えて、学習指導に対する改善努力は継続して実施していきたい。

一方、生活指導に関する内容については、生徒・教職員の間で問題提起がなされており、次年度に向けて体制、方法等の改善の取り組みが必要と思われる。

今年度、保護者との情報共有等に積極的に改善努力を行い、高い評価を得た。保護者の学校行事等への参加も増加しており、良い関係性を構築する中で、高い信頼を得ることができている。今後より一層「入学してよかった」「学んでよかった」「卒業してよかった」学校と言ってもらえるよう取り組んでいきたい。